

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-68245(P2019-68245A)

【公開日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-016

【出願番号】特願2017-191755(P2017-191755)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

B 65 H 3/06 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 C

H 04 N 1/00 1 0 7 Z

G 03 G 21/14

G 03 G 21/00 3 8 4

B 65 H 3/06 3 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月18日(2020.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動部を駆動して、複数枚の原稿から原稿を1枚ずつ搬送する搬送手段と、

前記搬送手段によって搬送された原稿の画像を読み取る読み取手段と、

前記読み取手段によって原稿の画像を読み取ることで生成される画像データを外部の画像処理装置にファクス送信する送信手段と、

前記読み取手段により原稿の画像を読み取ることで生成される画像データをファクス送信と異なる方法で出力する出力手段と、

前記複数枚の原稿の搬送が開始してから前記複数枚の原稿の読み取りが完了する前に、前記駆動部の駆動を所定の時間停止する搬送制御手段とを有し、

前記所定の時間は、前記読み取手段によって前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記送信手段によってファクス送信する第1のジョブの実行中は、前記外部の画像処理装置が画像データを受信しない状態で回線が切断される基準時間より短い第1の時間であり、

前記所定の時間は、前記読み取手段によって前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記出力手段によって出力する第2のジョブの実行中は、前記第1の時間より長い第2の時間であることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記画像データを前記送信手段によってファクス送信している間、または前記画像データを前記出力手段によって出力している間、所定の条件が満たされるまで前記搬送制御手段は前記駆動部の駆動を停止せず、前記所定の条件が満たされたら、前記搬送制御手段は前記駆動部の駆動を停止することを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記搬送手段によって搬送される原稿の枚数をカウントするカウント手段をさらに有し、

前記所定の条件は、前記カウント手段によってカウントされた原稿の枚数が所定の枚数を超えたことであることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記所定の枚数は、前記第 1 のジョブの実行中の方が、前記第 2 のジョブの実行中より少ないことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記読み取り手段が前記複数枚の原稿の読み取りを完了してから経過した時間を計測する計測手段をさらに有し、

前記計測手段によって計測された時間に従って、前記カウント手段によってカウントされた枚数をリセットすることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記出力手段は、前記読み取り手段によって原稿を読み取ることによって生成された画像データに基づいて印刷を行う印刷手段であり、

前記第 2 のジョブは、前記読み取り手段によって前記原稿を読み取ることによって生成された画像データを用いて前記印刷手段によって印刷を実行するジョブである

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

駆動部を駆動して、複数枚の原稿から原稿を 1 枚ずつ搬送する搬送工程と、

前記搬送工程で搬送された原稿の画像を読み取る読み取り工程と、

前記読み取り工程で原稿の画像を読み取ることで生成される画像データを外部の画像処理装置にファクス送信する送信工程と、

前記読み取り工程で原稿の画像を読み取ることで生成される画像データをファクス送信と異なる方法で出力する出力工程と、

前記複数枚の原稿の搬送が開始してから前記複数枚の原稿の読み取りが完了する前に、前記駆動部の駆動を所定の時間停止する搬送制御工程を有し、

前記所定の時間は、前記読み取り工程で前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記送信工程でファクス送信する第 1 のジョブの実行中は、前記外部の画像処理装置が画像データを受信しない状態で回線が切断される基準時間より短い第 1 の時間であり、

前記所定の時間は、前記読み取り工程で前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記出力工程で出力する第 2 のジョブの実行中は、前記第 1 の時間より長い第 2 の時間であることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載された画像処理装置の制御方法を、コンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像処理装置とその制御方法、およびプログラムに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に記載の画像処理装置は、駆動部の温度の上昇を抑制する降温制御の実行によつてファクス送信における通信エラーが発生する可能性を減らしつつ、他の出力ジョブの実行時には駆動部の温度の上昇をファクス送信時よりも抑えることを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

駆動部を駆動して、複数枚の原稿から原稿を1枚ずつ搬送する搬送手段と、
前記搬送手段によつて搬送された原稿の画像を読み取る読み取手段と、
前記読み取手段によつて原稿の画像を読み取ることで生成される画像データを外部の画像処理装置にファクス送信する送信手段と、

前記読み取手段により原稿の画像を読み取ることで生成される画像データをファクス送信と異なる方法で出力する出力手段と、

前記複数枚の原稿の搬送が開始してから前記複数枚の原稿の読み取りが完了する前に、前記駆動部の駆動を所定の時間停止する搬送制御手段とを有し、

前記所定の時間は、前記読み取手段によつて前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記送信手段によつてファクス送信する第1のジョブの実行中は、前記外部の画像処理装置が画像データを受信しない状態で回線が切断される基準時間より短い第1の時間であり、

前記所定の時間は、前記読み取手段によつて前記原稿の画像を読み取りながら前記原稿を読み取ることによって生成される画像データを前記出力手段によつて出力する第2のジョブの実行中は、前記第1の時間より長い第2の時間であることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に記載の画像処理装置は、駆動部の温度の上昇を抑制する降温制御の実行によつてファクス送信における通信エラーが発生する可能性を減らしつつ、他の出力ジョブの実行時には駆動部の温度の上昇をファクス送信時よりも抑えることができる。